

イマルトビーチ付近海域における流況調査報告

平成17年1月24, 25日の大潮の低潮(干潮)時にイマルトビーチ付近海域において、流況調査を実施した。観測方法は、測量船搭載の超音波流速計(ADCP)による流向流速の観測及びDGPSブイによる漂流観測である。

1. 観測海域

測点図に示すとおり

2. 使用船舶等

測量船「おきしお」及び搭載艇
業務用自動車 一台

3. ADCP 観測結果

ADCP 観測は、ブイを漂流した時間に合わせて、低潮前・後の2回観測をおこなった。結果を第1, 2図に示す。

1月24日は低潮前・後ともに伊江水道を南方向へ流れており、最大で1kn程度の流れであった。また、漂流観測海域は低潮前では北方へ流れ、低潮後では南方へ流れていた。

1月25日は、荒天のためデータ不良となり、観測データを不採用とした。

4. 漂流観測結果

1月24日の低潮前・後の2回(約1時間)、2地点で同時に観測を行った。結果を第3, 4図に示す。観測中の風は南西寄りの風2~3mと弱く、風の影響はないものとした。

低潮前は、ビーチ北側・南側ともにビーチ西方のリーフへ最大1.0knの速さで向かい、リーフ外へと流れた。

低潮後は、低潮前と同様にビーチ西方のリーフへ最大0.7knの速さで向かいリーフ外へと流れたが、陸よりでは約0.1knの弱い流れではあるが南方向へ流れた。

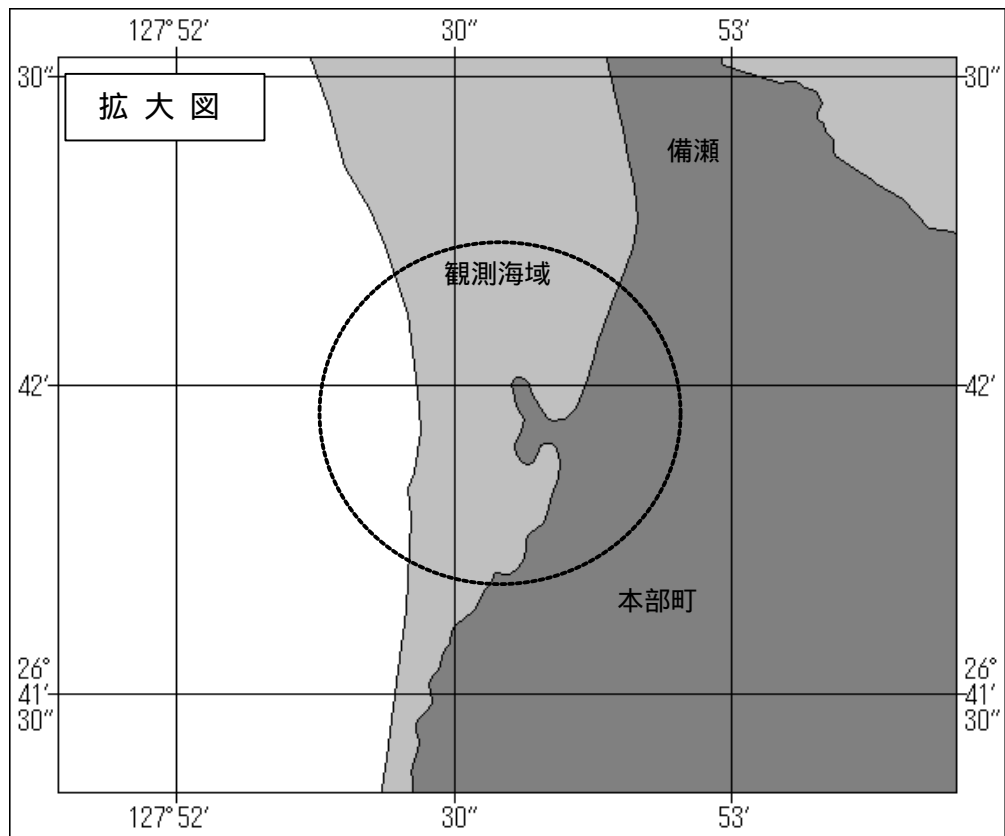
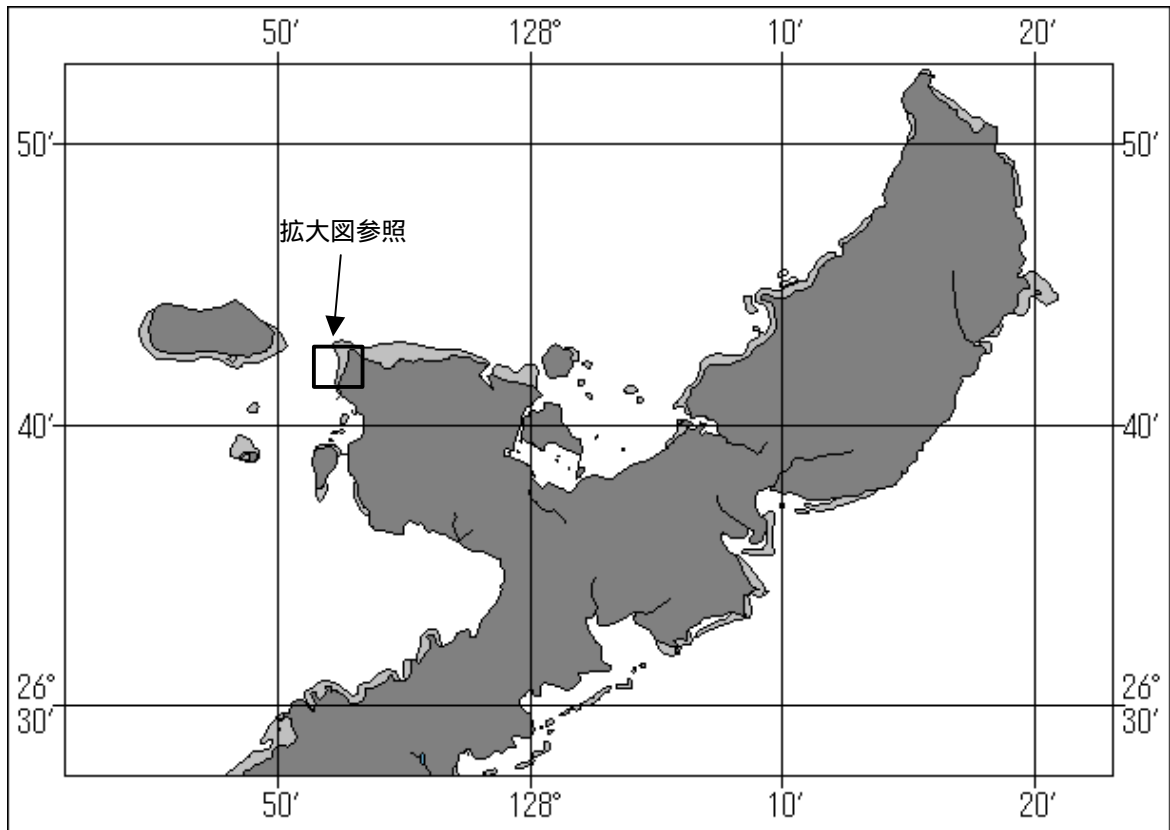
1月25日は、荒天のためデータ不良となり、観測データを不採用とした。

5. まとめ

今回の観測海域であるイマルトビーチ付近海域は、沖縄県北部の本部町にある海洋博記念公園内に作られた人工ビーチ周辺の海域であり、夏季は海水浴場として観光客や地元の人で賑わう場所である。

今回観測において急潮流が発生している場所が見つかった。低潮時に観測海域付近の流れがビーチ西方で一か所に集まり、最大1.0knの速さでリーフ外へ流出するという結果となった。ビーチ周辺のような浅い海域においても、この流れの影響を受けて急激に沖へ流されることがあるので、海水浴客は注意が必要である。

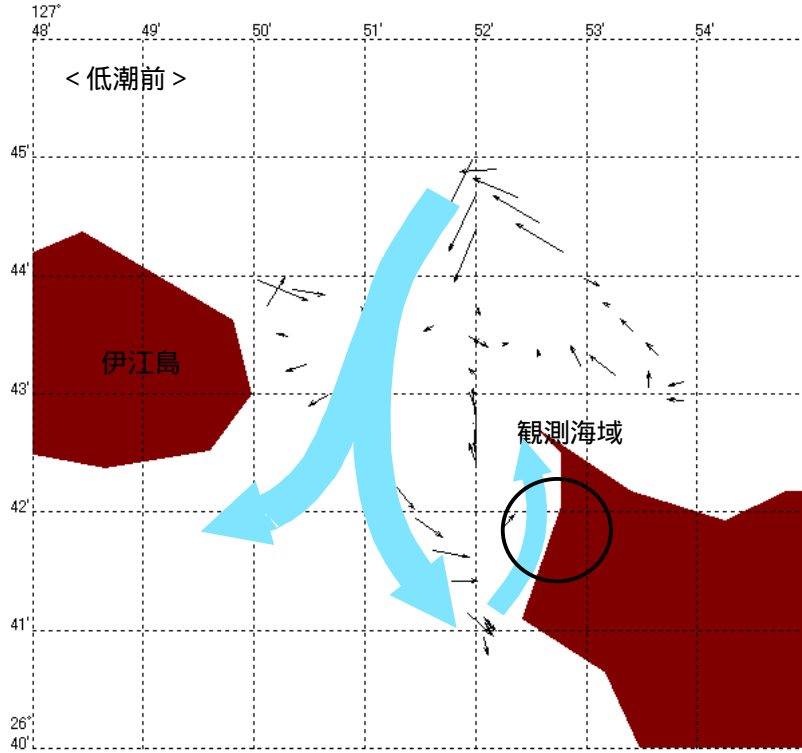
測点図



ADCP 観測結果 (11月24日観測)

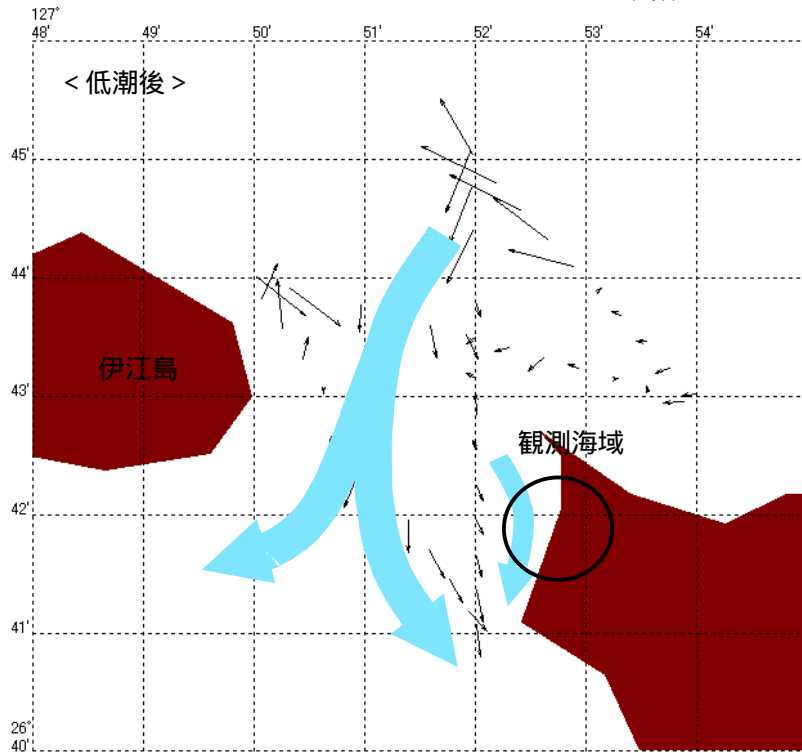
2005/01/24 10:55~01/24 12:19 第1層 10.0m →
20 (ノット)

第1図



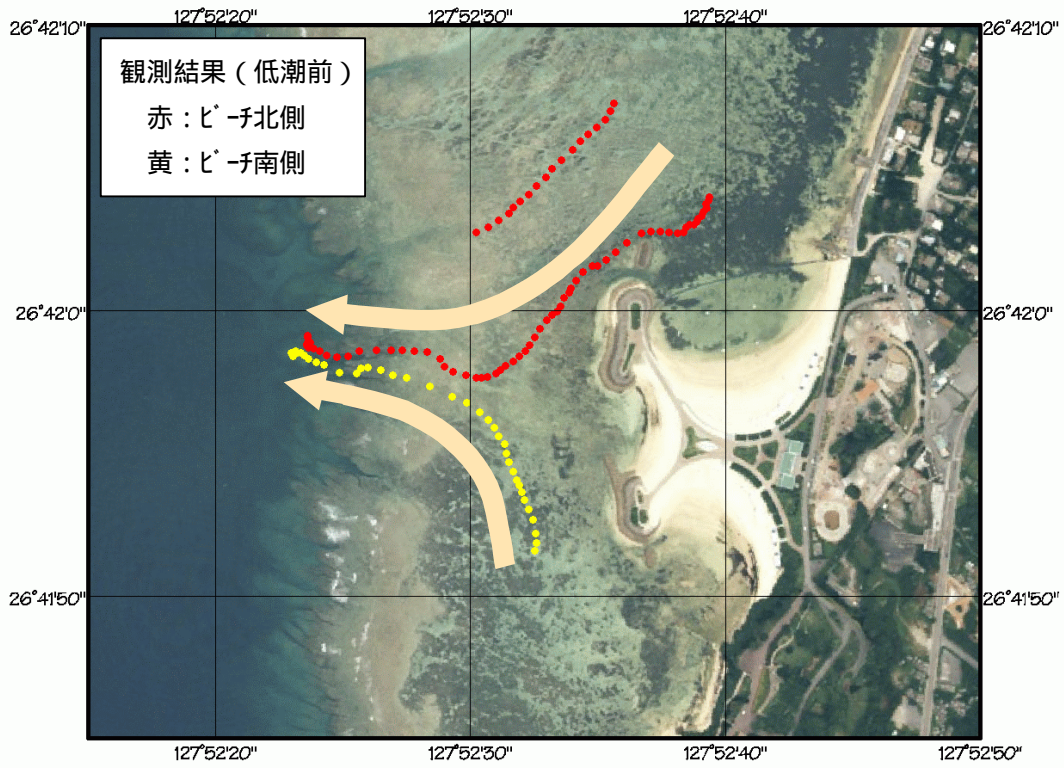
2005/01/24 13:25~01/24 14:39 第1層 10.0m →
20 (ノット)

第2図



漂流観測結果 (11月24日観測)

第3図



第4図

